

「一律価格」制度への危惧

～小水力発電の観点から～



電力会社等が開発する3万kWと
地域で開発する数百kWを
同一条件で競争させたら何が起きるか



補助金無しの15～20円/kWhでは

現状より悪化する

現状

- 販売価格11円/kWh
- 補助金 50%

経産省案

- 販売価格15～20
円/kWh
- 補助金なし

※ 地域で取り組む千kW以下の小水力発電

地域で取り組む1,000kW以下の 発電を優遇する政策が必要

- 出力別に**コストベースの固定価格**で調整する
- コストベースの条件を**補助金で調整**する
- 需要家が任意でより高く購入できるようにする
⇒ 電気と切り離して**環境価値を売買**